

ふれあい 広場



安全安心な 地域づくり

地域づくり検討委員会にお集まりの皆さんには、さまざまな活動を通じて、活力あふれる地域づくりにご尽力いただくとともに、地域づくり推進事業のモデル地区として特段のご支援、ご協力を賜っておりますことに感謝申し上げます。

さて、地域の安全安心を守り誰もが将来にわたって元気で楽しく生き生きと暮らせる地域づくりを進めていくには、お互いに顔の見える地域での支え合いが何よりも重要であると考えています。

皆さんが活発に議論を交わしている様子や、グループ別の発表が熱心に行われている様子を先程から拝見しまして、自分たちの地域をより良くしたいという皆さんの熱い思いがしっかりと伝わってまいりました。この事業の成功に向けて、大変頼もしくまた、心強く感じております。

上川淵地区をはじめ5つのモデル地区での成果をほかの地区に示し、全国からも注目を集めるような地域づくりを市内全域に広めていきたいと考えています。
(上川淵地区地域づくり検討委員会、7月18日、上川淵公民館)

まえばし シティフラッシュ



皇太子殿下が七月十二日と十三日、ぐんまアリーナで行われた第四十二回献血運動推進大会全国大会へのご臨席などで来県されました。沿道や会場などではたくさんの方が集まり、国旗を振りながら笑顔で殿下を歓迎しました。

皇太子殿下を市民が歓迎



葉子さんをしのび

「萩原葉子を語る」会が7月9日に前橋文学館で開催されました。故萩原葉子さんの長男で映像作家の萩原朔美さんが講演。また、著作の朗読やマンドリン演奏なども行われ、その業績をたたえるとともに、人柄をしのびました。

築地で農産物PR

7月14日に、東京都中央卸売築地市場で高木市長らが本市農産物のPRを行いました。これは、販売促進と知名度アップが目的。枝豆の試食を行った後には、競り台の上で新鮮で安全・安心な野菜などについて紹介しました。



公園などを みんなで清掃

総社地区

七月十六日、総社町桜が丘自治会で、公園など三方所を清掃しました。これは、毎年夏と冬に行われる環境美化の恒例行事。朝早くから各組ごとの集合場所に集合し、かまや草刈り機などを使って、雑草の刈り取りやゴミ拾いなどを実施。さわやかな汗を流していました。

秋山隆哉自治会長は「自分たちの町は、自分たちで守り、いつもきれいな町にしたいので、今後も積極的に住民が一体となり清掃活動に取り組みたいですね」と話していました。



伝統を守る お神楽回し



上川淵地区

東善町で七月二十三日にお神楽回しが行われました。毎年二回、正月と夏にお神楽の一行が町内を巡回。正月は新年の祝い、夏は疫病退散などの祈願です。一行は、てんぐやさつねの面を付けた子どもたちが「悪魔っ払い」と声を上げながら先導、かねや太鼓を鳴らし獅子舞が一軒一軒回ります。五百年以上続く伝統行事で、戦中、戦後も休まず続け、近年は保存会を結成して守っています。この日は子どもから大人まで八十人が参加し、百四十戸以上で五穀豊穡や交通安全などを願いました。



毎日書道展で最高賞
勝山 初美さん(56)
上泉町

毛筆の素晴らしさを広げたい

第五十八回毎日書道展の会友部門「かなI類」で、最高賞にあたる「毎日賞」に選ばれた。「通知を開いて最高の賞だ」と分かったときには、喜びも

ひとしおでした。長年、応募を続けていますが、これまででも一番努力を重ねて仕上げた作品だったので、うれしいですね」

縦二尺、横六尺の紙に、西行の山家集から短歌十四首を選び細字で筆を運んだ。「師事する下谷洋子先生の指導を受け、字配りやリズム、濃淡に気を配って何度も書き直し、三カ月くらいかけて完成。書が映えるようにと、用紙や台紙、表具なども工夫しました」

父親や祖父が書道に親しんでいたため、子どものころか

ら習字が好きだった。「自宅の書道教室で子どもたちに教えるとともに、特別非常勤講師として広瀬中、元総社小、細井小で指導しています。最近では自分の名前を丁寧にかきと書けない子どもも少なくありません。生活にパソコンが普及していますが、毛筆で字を書くことの楽しさを教えていきたいですね」

桂萱公民館で活動する書道の会やカルチャースクールでも講師を務めている。日本の伝統文化である書道が廃れてしまうことのないよう、努力を続ける毎日だ。